

我が社の取組公開します！

「あおもりキャリア教育応援企業表彰」
受賞企業・事業所等の取組事例紹介

あおもりで「生きる・働く」を学ぶキャリア教育推進大会

平成27年11月18日(水)
青森県総合社会教育センター

【 目 次 】

No.	企業・事業所・団体名(市町村)	ページ
1	株式会社メゾン(青森市)	1
2	東洋建物管理株式会社(青森市)	3
3	五所川原街づくり株式会社(五所川原市)	5
4	東奥信用金庫(弘前市)	7
5	特定非営利活動法人かなぎ元気倶楽部(五所川原市)	9
6	丸文さとう株式会社(青森市)	11
7	社会福祉法人青森社会福祉振興団(むつ市)	13
8	株式会社マエダ(むつ市)	15
9	有限会社ジークフリース弘前店(弘前市)	17

参考資料：平成27年度「あおもりキャリア教育応援企業表彰」実施要領 19



1 株式会社メゾン（青森市）

1 我が社の活動方針・理念

アパレル業界を主体に「モノが創られ、消費されて生活が豊かになり、文化が形成されていく仕組み」と、地方（青森）の関わり方の“現在”を踏まえ、私達青森県民がどんな可能性を持っているのか、参加者全員で考えることを目的としています。

2 教育支援活動のための体制やしきみ作り

弊社店舗を利用した職業体験学習では、スタッフ全員が子ども達と会話し、実技（接客ロース等）に参加しています。

3 我が社の工夫

① 社内での工夫（計画～実行～評価～改善へ）

定められた時間の半分は基本的な（実技を中心とした）プログラム、残りの半分はリアルタイムな時事ニュース等を混ぜながら、世界、社会の全体観に子ども達の将来や夢を照らし合わせて意見交換をします。

② 学校との連携での工夫

学校側とは“何をねらいとしているか”等の打ち合わせを綿密に行っております。また、子ども達の性格や態度に応じて講話内容を切り替えるレスポンスを共有・連携しています。

③ 実施当日には…

出前授業では、ここ数年間で実現した、弊社と学校側とで共同企画、開発、生産、販売したアパレルに関する「コラボ商品」の現物を展示したり紹介したりし、子ども達に現実的な（自分にもできるかも！！という）可能性を感じてもらうように工夫しています。

4 その他

我が社は学校教育サポーターに登録し、出前出張授業や職場体験受入れについてインターネット上に公開して、受け入れ要請にできる範囲で応じています。

講話を実施した学校の先生方や生徒から感想を頂いております。

講話内容や授業風景等の画像を弊社HPなどで紹介することについては、子ども達のプライバシー保護の観点や弊社の”セール向上の為の施策“として捉えられる恐れもあり、現在は控えております。

5 活動の様子、資料など



青森市立西中学校 職業講話・出前授業の様子

6 最近の活動実績

- H26/6/12 青森市立三内中学校 2年生 5名対象
職業体験学習を受け入れました。
- H27/5/27 青森市立西中学校 2年生 160名対象
生き方講話（出前授業）を行いました。
演題：笑顔を生み出すエッセンス～クリエイターの立場から
- H27/7/2 青森市立西中学校 2年生 27名対象
職業講話（キャリア教育）を行いました。
- H27/7/24 青森県立青森東高等学校 2年生 4名対象
職業講話、職場体験の受け入れなど行いました。 etc..

2 東洋建物管理株式会社（青森市）

1 我が社の活動方針・理念

当社の事業が市民の暮らしを支える重要な役割を担い、社員は誇りと使命感を持って働いていることを伝えています。

興味・関心のある職業を体験させることで、職業についての理解を深め、働くことへの喜びや苦勞を肌で感じさせ、勤勞の尊さを伝えています。

体験を通して、人とふれあい、社会人としての礼儀や責任、マナーの重要性を伝えています。

体験や見学を通して、具体的な仕事の内容や自らの適性について理解を深めさせると共に、自らの将来をしっかり見つめる力を醸成させています。

2 教育支援活動のためのしくみ作り

社員研修担当者は、全国ビルメンテナンス協会講師の資格を有する者が実施し、定期的な研修を受けると共に、日々の社内教育についても創意工夫をして分かり易い、理解し易い教育をするよう目指しています。

研修については、当社研修室において、実際の現場同様の資機材を使用しての実技指導を実施し、DVDやビデオ、プレゼンテーションソフトを利用した視覚的な教育も実施しています。

3 我が社の工夫

① 社内での工夫（計画～実行～評価～改善へ）

個々の職場体験を通じて出された質問等について誠実に答え、生徒たちの将来のために何が必要なのかを教示するように心がけています。

質問をされたことについては、すべての職場体験、インターンシップに来た生徒に対して必要なことであるとの認識から全員に同様に応え、将来の糧にしてもらうようにしています。

各学校から来る礼状や体験記、他社の職場体験状況を参考にし、次回の職場体験に生かせるよう改善、工夫をしています。

② 学校との連携での工夫

学校等からの要請に対し、社内で検討し、担当部署の決定と研修内容について検討し、可能な限り対応しています。

学校等の事前打ち合わせにおいて、教育して欲しい内容について事前に聴取し、対応できるようにしたり、事後においては、生徒等からの要望を吸い上げ、今後の研修の参考資料としています。

③ 実施当日には…

プロの清掃作業について、実際に使用している道具を使用し、作業手順についても実際の現場で実施している方法を教えています。

当社の体験を受講することにより、学校での清掃、家庭での清掃をプロの仕様で実施できるようになるように指導しているため、学校に帰ってから学校内でその知識を広められるよう工夫しながら教えています。

4 その他

我が社は学校教育サポーターに登録し、出前出張授業や職場体験受入れについてインターネット上に公開して、受け入れ要請にできる範囲で応じています。

受け入れた学校の生徒からの礼状や感想、報告書での感想が多数寄せられています。

当社では、取組の様子について情報公開していないが、学校の広報誌などでの取組報告などについては積極的に行ってほしいと考えています。

5 活動の様子、資料など



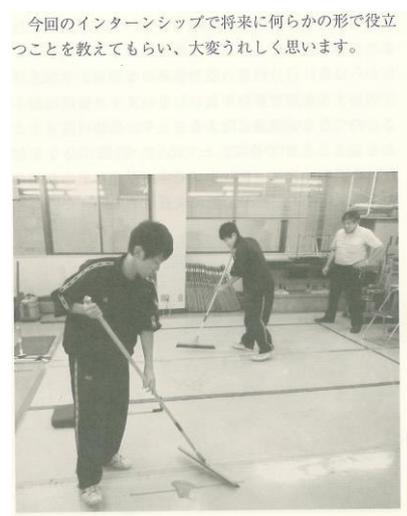
中学生が作成した壁新聞

今回のインターンシップでは、掃除の知識や日本の掃除について大変よく知ることができ、大変うれしかったですとしても、ためになりました。

その中でも、掃除の仕方について数点注意を受けてしまい非常に申し訳なく思っています。でも、教えられたことをちゃんと思い出してしっかりと掃除に活用できたので丁寧にわかりやすく教えてくれてありがとうございました。また、掃除にはちゃんとした順序がありその通りにやらないとプロかどうかかわかるという僕自身初めて分かったこともあり、びっくりしました。

掃除では、ほうき・ちりとり・ダスター・ポリッシャーなどをやりました。ほうきやちりとりは何度もやったことがありましたが、プロはやり方が違っていて、自分の左足から右足まで掃くや、右でやるときは右手を下に持つなどとても難しかったですがなんとかこなせました。ダスターは初めて知りました。でも、難しくはなくて難なくこなせました。最後に、ポリッシャーは名前も機具も初めて知りました。これはプロの方なら簡単に操作できますが、初心者が始めてやるとなるととてもではないですが簡単には操作できません。僕も最初は全然できなかったのですが、戸澤さんに教えてもらい、とてもコツをつかむのが簡単にできました。

高校から頂いた報告書



今回のインターンシップで将来に何らかの形で役立つことを教えてもらい、大変うれしく思います。

6 最近の活動実績

- H26/7/8~10 青森市立佃中学校2年生
- H26/9/2~4 青森県立青森商業高校1年生
- H26/9/3~5 青森県立青森中央高校1年生
- H26/11/26~28 青森市立新城中学校2年生
- H27/7/1~2 青森市立三内中学校2年生
- H27/7/7~9 青森市立佃中学校2年生
- H27/7/29 青森県立北斗高校通信1年生
- H27/9/1~2 青森県立青森商業高校1年生
- H27/9/3~4 青森市立油川中学校2年生

各校の生徒に対して職業講話及び仕事内容の説明、実技指導に加えて、心構え、企業の求める人材等について話をしました。

3 五所川原街づくり株式会社（五所川原市）

1 我が社の活動方針・理念

当社の経営理念は、「街づくり・店づくり・人づくり」です。そして、「強い会社になるために、全員が人間力向上を実践します」という活動方針を掲げ、取り組んでいます。この方針に沿い、支援先学校様に対しても、実社会に出てから、強いチームの一員になり、貢献できる人間になるためには、日頃からどんな生活習慣を実践し、どんなことを意識し、どのような行動を実践することが必要なのかについて、一般論ではなくて、具体的で実務的な内容をお伝えさせて頂くことを念頭に置いております。まずは、当社の事業内容、活動内容を知っていただき、地域の将来を担う若者に対して働くことの意義と心構え、日頃の生活習慣の大切さを伝えるようにしています。

2 教育支援活動のためのしくみ作り

当社では、営業部と管理部に加えて、平成17年から「研修室」を立ち上げ、ショッピングセンター（SC）の総支配人が研修室長を兼務しながら、テナント店長および従業員との勉強会の機会を設定し、現場力の向上を目指して日々実践しております。

また、学校様などによる当SCへの職場体験につきましても、研修室が担当しております。学校様などに出向いて講話させて頂く場合には、研修室長だけでなく、営業部や管理部の社員が担当する場合があります。

3 我が社の工夫

① 社内での工夫（計画～実行～評価～改善へ）

講話終了後、出席者全員から感想文を頂くようにしています。これにより、各人の理解度を把握して、伝える側と伝わる側との一致・不一致の発見・確認を行い、次回の講話の際の改善資料としても活用しています。

② 学校との連携での工夫

養護学校様の場合、事前に担任教諭様と打合せを行い、まず、講話による学校側のねらい、なりたい状態を確認します。そのうえで、生徒様の理解レベル（幅）をお知らせ頂き、質疑応答可能な生徒様の個人名を聞き出し、質問内容と講話の展開に関するシミュレーションを担任教諭様と行ったうえで、講話の内容と進め方を決めるようにしています。

③ 実施当日には…

生徒側が、「聴く側」専門になり、「自分には関係無い」と思って飽きたり、思考停止しないように工夫しています。思考が常に、「自分は今後どう考え、どう行動するか」という方向に持っていくようにするために、会場全体に対して質問を投げかけたり、時には個人を指名したりして巻き込み、講師と生徒との「距離を縮める」ことに重点を置いています。

4 その他

我が社は学校教育サポーターに登録し、出前出張授業や職場体験受入れについてインターネット上に公開して、受け入れ要請にできる範囲で応じております。

木造高等学校での講演の様子が平成25年11月6日付け朝日新聞に掲載されました。

また、木造高等学校での講演の様子が青森県発行『高校生のキャリアづくり応援マガジン「YELL」第4号』に掲載されました。

5 活動の様子、資料など



木造高等学校での講話の様子

6 最近の活動実績

- H25/5/8 青森県立森田養護学校
インターンシップを目前にした高等部の皆様に対して、「働く意義と社会人としての心構え」についての講話を行いました。テーマとして、①「働く」とはどういうことなのか、②社会人としての心構え、その2つについてお話ししました。
- H25/11/5 青森県立木造高等学校
青森県の「先輩から後輩への夢相伝」事業より講師の依頼を受け、全校生徒約600名に対して次の内容をテーマにした講演を行いました。
①「しごと」についたきっかけ ②「しごと」の楽しさ、つらさ、将来の夢
③「しごと」に必要な能力・資格 ④後輩へのエール
- H27/6/12 青森公立大学
経営経済学部1年生のゼミのグループを対象にした職業講話を行いました。テーマとして、「街づくりとELMのマネジメント」についてお話ししました。
- H27/7/9 S.K.K 情報ビジネス専門学校
オフィスビジネスコース1年生を対象にした職業講話を行いました。「商業について」をテーマにお話ししました。
- H27/8/24 板柳町立板柳中学校
3年生を対象に職業講話を行いました。社会に出る前の心構えとして、「考え方を学ぶ」をテーマにお話ししました。
- H27/9/3 青森県立五所川原工業高等学校
4名がELMの機械室を訪問し、機械室に常駐している担当者（株産交）の案内説明により、館内設備の見学を実施いたしました。

4 東奥信用金庫（弘前市）

1 我が社の活動方針・理念

学校における金融教育が重視されている中、当金庫のCSR（企業の社会的責任）の一環として、小・中学校および高校を対象に、出前授業形式のマネースクールを実施しており、当金庫事業計画の施策の一つとして位置づけしています。

2 教育支援活動のためのしくみ作り

研修部門担当の人事課、地域支援活動担当の支援課および該当する地域の営業店職員等に対応しています。

3 我が社の工夫

① 社内での工夫（計画～実行～評価～改善へ）

出前授業実施後は、各学校から受講した生徒たちの感想文等をフィードバックしてもらい、次回以降の参考としています。

② 学校との連携での工夫

体験実習については、毎年、実習終了後に、高校主催で情報交換会を開催しています。

③ 実施当日には…

出前授業については、以下のとおり工夫しています。

- 極力、専門用語を使わないこと、身近な事例を活用すること等を心がけています。
- 全員参加で進行できるよう、クイズ形式を取り入れています。
- 模擬紙幣を使用することにより、生徒にリアル感が醸成されています。

4 その他

我が社は学校教育サポーターに登録し、出前出張授業や職場体験受入れについてインターネット上に公開して、受け入れ要請にできる範囲で応じています。また、当金庫ホームページにおいても「マネースクール」の開催実績を紹介しております。

⑥ 【総合、社会、商業 / 出前授業】

対応可能地域
 中甸

東奥信用金庫

マネースクール

校 種	小学校・中学校・高等学校
学 年	小学校高学年～高校3年生
教科等	総合的な学習の時間、社会、商業
単元例	金融の仕組みと働き（政治・経済）

1 会社概要

東奥信用金庫は、地元重視・地域密着型の金融機関です。
 本店は弘前市にあり、弘前市・黒石市・平川市・五所川原市その他周辺市町村で21か店展開しています。職員数は258人（正職員・パート職員・派遣社員含む）です。

2 プログラムのねらい・特徴

将来を担う子どもたちに金融機関の果たす役割と、お金の大切さを理解してもらうことを目的として実施。

3 プログラムの内容（50分）

展開1 東奥信用金庫の紹介

展開2 マネークイズ
おれのことや高校卒業までにかかる金額についてクイズ形式で学ぶ。

展開3 信用金庫の仕事
仕事内容について銀行と比較する

展開4 利息の話
金利によって返済額がどのように変わるか学ぶ

展開5 まとめ
お金の大切さ、社会人に求められることを学ぶ

2. マネークイズ①

※以下で、大学進学に必要な貯蓄額を算出するクイズを実施し、100万円を目標に貯蓄額を算出。

① 月給額
② 10年貯蓄
③ 1.1倍増

マネークイズ②

※以下で、大学進学に必要な貯蓄額を算出するクイズを実施し、100万円を目標に貯蓄額を算出。

① 月給額
② 3000円
③ 5000円
④ 1.000円

3. 信用金庫の仕事

● 融資業務
● 貸付業務
● 信託業務
● 信託業務
● 信託業務
● 信託業務

4 実施にあたって学校に留意してほしい点

可能であればプロジェクターとスクリーンをお願いいたします。

5 メッセージ

【生徒より】私が生まれてから18年間にかかる金額の大きさを知って驚きました。それに私が大きくなるのに親がこんなに頑張ってくれていたんだなと思いました。



6 問合せ先

東奥信用金庫人事部
 住所：〒036-8182 弘前市土手町 81
 電話：0172-34-8404

青森県教育委員会「地域の力で夢を育む教育支援活動プログラムメニュー集（平成 26 年 3 月発行）」に当金庫の出前授業プログラムが紹介されました（右図参照）。

地域や学校では、必要性・重要性を認識していると思われます。また、出前授業の実施直後は、各学校から感謝され、生徒も喜んでいるものと推察されますが、学校のスケジュール等との関係で、必ずしも翌年度以降に継続されないという現実があり、大きな課題と考えています。

5 活動の様子、資料など



マネースクールの様子

6 最近の活動実績

- H27/7/29~30 弘前東高等学校 普通科 2年生 2名
弘前東高校が毎年実施している体験実習の受入れ。金融機関業務の講話、通帳・証書作成、パソコン入力作業等実務研修を実施。
- H26/11/18 平川市立尾上中学校 1年生 30名
子供たちにお金についての正しい知識とお金の大切さを身につけてもらうことを目的として、クイズ形式で講話。
- H26/10/24 弘前市立津軽中学校 2年生 36名
子供たちにお金についての正しい知識とお金の大切さを身につけてもらうことを目的として、クイズ形式で講話。
- H26/7/23~25 弘前東高等学校 普通科 2年生 2名
弘前東高校が実施している体験実習の受入れ。
金融機関業務の講話、通帳・証書作成、パソコン入力作業等実務研修を実施。
- H25/6/6 弘前市立津軽中学校 2年生 30名
子供たちにお金についての正しい知識とお金の大切さを身につけてもらうことを目的として、クイズ形式で講話。
- H25/3/8 弘前東高等学校 普通科 2年生 60名
社会に出る上で、最低限必要なお金の知識とお金の使い方等について講話。
- H24/11/28 弘前市立石川中学校 1年生 30名対象
子供たちにお金についての正しい知識とお金の大切さを身につけてもらうことを目的として、クイズ形式で講話。

5 特定非営利活動法人かなぎ元気倶楽部（五所川原市）

1 我が社の活動方針・理念

五所川原市金木町及び周辺住民に対し、地域伝統文化・芸能を活用した観光振興事業、地域経済活性化を図るための各種事業を行うことによって、社会全体の利益の増進に寄与することを目的としています。

社訓は、『思い(やりたいこと)を形にする』『誇れる郷土は自分達の手で守る』です。

私たち役員や社員だけではなく、地域住民一人一人が心から郷土を愛し、共存できる環境を作り上げていくために、地域の宝である子供達に少しでも多くの体験などを通して「学びの場」を提供していく活動に取り組んでいます。

2 教育支援活動のためのしくみ作り

現在26名の従業員がいます。総務部、指定管理部門(太宰治記念館「斜陽館」、津軽三味線会館)、自主事業部門(喫茶店「駅舎」、かなぎ元気村「かだるべえ」、茶房「鄙家」)に配属され、日々観光のお客様と接しています。

学校関係に携わる際は、キャリア教育コーディネーターの資格(6名)を有するものが窓口となり、企画・調整・実行するようにしています。各種体験については、体験指導員が対応するように努めています。

3 我が社の工夫

① 社内での工夫（計画～実行～評価～改善へ）

始める前に「導入」の時間と、終了した後に「振り返り」の時間を設定しています。

始める前と後では、どんな気持ちの変化があったかを確認しています。主にアンケート用紙を活用しています。

また、他人の発表を聞く時間を設け、自分とは違う意見を受け入れるような工夫をしています。

② 学校との連携での工夫

これまで取り組んできたことについては、事前に担当の先生方と、直接お会いしたり、メールやFAXを活用して、密に連絡を取るように心掛けてきました。事業計画・内容についても、先生方の希望や、生徒さんの状況等を把握し、講師の選択にあたってきました。

他企業等への協力、連携につましましては、県内外からの視察や講演依頼があるため、役員等が対応しています。取組事例を紹介することで、県内外でも似たような事例が少しずつニュースに流れるようになったと思います。

③ 実施当日には…

固定位置に留まることをせず、歩き回りながら内容を伝えたり、生徒一人一人に話しかけたりするようにしています。また、用意する資料は、活字だけではなく写真などを交えたりしています。

4 その他

行った取組については、事前に学校の許可を得て写真を撮り、自社のHP(ブログ)や町内へ毎月発行している新聞で紹介をしています。一方で、今のところ地元の中学校や高校での活動にとどまっており、いかに他地域へPRすべきか考えています。

【新聞報道実績】

H26/3/25 東奥日報「教育旅行メニューの開発、成果発表 魅力PR」

H26/4/16 東奥日報「北海道修学旅行生 教育旅行メニューである街歩き実施」

H26/9/25 東奥日報「金木高生 ガイド役挑戦 芦野公園で練習念入」

H26/10/8 東奥日報「高校生の三味線 園内を案内するツアーも行われ、まつりを盛り上げ」

5 活動の様子、資料など 6 最近の活動実績

H26/5月～7月 金木高等学校 1学年

【コミュニティビジネスとは】地域で生きる道を考える講話。自らが地域を元気にすることを目標に、地域資源を再発見するとともに地域における仕事や職業について関心を持つきっかけづくり。

【地域の探究】郷土工芸体験学習の実習し文化祭に展示する。木工体験・こぎん刺し・金魚ねぶたの制作。昔ながらの道具や手作業を体験する。

H26/9月 金木高等学校 希望者

【おもてなし講座】観光客に対するガイド案内人材育成。自らが学んだことで、芦野公園に訪れる観光客をガイド案内する。

H26 通年 全国の小中高等学校（学校教育旅行）対象

【金木地区での体験プログラム】メニュー開発。作家 太宰治の生まれた町であることから、太宰の生まれ育った環境に触れながら生家への道のりを歩く。また太宰治記念館「斜陽館」でのミッションを自ら解きながら太宰や生家(建物)について学習する。

H26/8月～9月 五所川原市立金木中学校、金木高等学校、金木高等学校市浦分校

【インターンシップ受入】テーマ：「働くこととは」「生きること、働くこと、を学ぶ」多種多様な職業がある中で、弊社での仕事や人間関係に触れ、働くことについて自ら考え行動する機会を提供する。

H26/10月～12月 五所川原市立金木小学校、金木中学校、金木高等学校の希望者

【ESD 環境教育/環境教育プログラムの開発と実証】持続可能な地域づくりを担う人材育成事業として、地域資源を活用したプログラムに参加し、地域の環境問題に触れる。

H26/11月 青森県立金木高等学校 2学年

【職業人講話】様々な仕事で働いている講師のお話を聞く。講師自らの体験を通して、職業観や生き方等を生徒に伝える。失敗や成功を重ねて生きていくこと。気持ちの切替。生徒へのエール。

H27/1月～2月 五所川原市立金木中学校 総合文化部

【イベントの協働】冬のイベントに展示するイルミネーションを制作。東北職業能力開発大学校青森校の生徒さんの協力を得ながら、自らのデザインを点灯させるまでの制作作業を協働する。

H27/10月～12月(進行中) 金木高等学校 1学年

【地域を知る】学校と地域の関わりを知る。まずは学校を知り、地域を知る。教科書にはない雑学を学ぶ。

【地域の探究】郷土工芸作りの実習。ひばリース作り・こぎん刺し・うんぺい作り を体験。昔ながらの手作業を体験し、地域の伝統や文化に触れる。

H27年 11月(進行中) 金木高等学校 2学年

【職業人講話】様々な仕事で働いている講師のお話を聞く。母校を卒業した先輩(講師)を招き、進学を希望する生徒や、就職を希望する生徒に分かれて、講話を聞く。講師自らの体験を通して、後輩たちへ社会で生きていくための心構えを伝える。

6 丸文さとう株式会社（青森市）

1 我が社の活動方針・理念

当社は児童生徒たちの通学や校内で着用する制服・体操服を卸小売りしています。その面で教育関係に寄与することが弊社の使命ですが、子供たちの夢創造、社会人の基礎的な考え方と行動などについて、体験や講話を通して身につけていただきたいと考えています。また、これにより弊社社員の日々の行動の見直しなどに役立てています。

2 教育支援活動のためのしくみ作り

弊社は社員パート含め10人以下ですので、社長がリーダーとなって実務や質疑応答などは社員全員で対応しています。

3 我が社の工夫

① 社内での工夫（計画～実行～評価～改善へ）

＜職場体験受入れ＞

計画については基本的なマニュアルを作成しています。

受入れ前に、学校の担当の先生方と打ち合せをします。

実施にあたっては、挨拶・笑顔・5W1H・報連相などについて指導、7月～9月が弊社の閑散期で実際の作業が少ないため、小売店の店主になったつもりで売りたい商品のPOPを作成しみんなの前で売り込むプレゼンを経験させています。

終了後は各学校への感想や情報提供を行い、社内では反省会をして次回受入れの際の改善など決めています。

② 学校との連携での工夫

学校側とは、事前打ち合わせは2～3回行い、学校側の目的と要請・要望内容の把握や参加者のプロフィールを連絡いただきます。事後については実施後学校訪問しお礼と反省など意見交換させていただき、生徒さんの発表会や文化祭に行き確認しています。

他の企業との情報交換などについては特にしていませんが、同様の受け入れを行っている企業や個人の方々と意見交換しています。（たとえば問屋町の和田ゴムさんや正善商事さん）また、問屋町の会合（青森問屋町同友会など）で紹介したり、職場参観日の案内の配布をさせていただいています。

③ 実施当日には…

出前授業や講話では、演題やねらいに応じて教材や服装に気をつけ、話し方についてはゆっくり大きな声で全体に目を向けながら、子供たちの印象に残る授業にしているつもりです。

職場体験では、社会人の基本・あいさつ・けじめ・報連相などを、きびしく・やさしく指導します。

4 その他 資料など

職場体験については、各学校の文化祭で発表、昨年度のキャリア教育推進大会、キャリア教育に関する情報交換会などで発表しています。また、菅公学生服(株)の全国のグループでも対応実績の発表なども行っています。

青森県教育委員会「地域の力で夢を育む教育支援活動プログラムメニュー集(平成26年3月発行)」に当社の出前授業プログラムが紹介されました。(右図)

普段の学校訪問・小売店訪問で「職場体験」や「出前授業・講話」などを行っていることのアピールをさせていただいています。

また、私の推薦している、腰塚勇人先生の「命の授業・心の授業」の講演会を紹介させていただいています。青森県内でも実施していただいていますので、ぜひご活用いただければ幸いです。

5 最近の活動実績

H27/7/10 青森市立古川中学校

2年生対象の職業講話で、仕事内容の説明に加えて、働くことの意義や夢実現に何が必要か、あいさつの大切さ等の話をした。

H27/7/1~2 青森市立荒川中学校

職場体験受け入れ…清掃・実務・POP作成・プレゼンテーションなどを通して社会人のルール・マナーなどを体験

H27/7/7~9 青森市立佃中学校 職場体験受け入れ…同上

H27/7/29~30 青森市立古川中学校 職場体験受け入れ…同上

H27/9/2~3 青森市立甲田中学校 職場体験受け入れ…同上

H27/9/15 青森市立泉川小学校

地域交流会…今年は「ロープワーク(結びに挑戦)」のテーマで児童たちに結び方の実践体験
 昨年は「カンコーでエコ(ペットボトルから学生服ができる!)」で講話

⑪【家庭、総合、特別/出前授業】

対応可能地域
東青/下北
(ただし要相談)

丸文さとう株式会社

制服、着こなしセミナー

校種 中学校・高等学校
学年 全学年
教科等 総合的な学習の時間、特別活動、家庭

1 会社概要
 青森市間屋町にある、スクールウェア(制服)、スポーツウェア(体操服)、通学カバン・校内シューズなどの卸小売を行っています。各学校の指定制服や体操服(校内着)、部活動のチームウェアやクラスTシャツ、町内会や企業で使用するタオルや記念品も扱っています。また、ねぶた関連のお土産なども販売しています。

2 プログラムのねらい・特徴
 学校が制定している「制服・通学服」の正しい着用方法を中心に、一般衣料のTPOなどを指導・説明します。
 生徒の皆さんに通学や式典・校内での制服の着用方法、学校が定めたルールを守ること、制服の役割と着用のしかたを指導します。また社会人になった時の心構えも学べます。自分自身のイメージアップに導きます。

3 プログラムの内容 (50分)

展開1: (導入) 制服とは何?

展開2: 外見の重要性…他人からの印象

展開3: 着こなし…身だしなみのポイントを説明

展開4: TPOについて
…社会一般の制服やフォーマルを紹介

展開5: 制服のメリット・デメリット
…実施校の制服基準

展開6: まとめ



4 実施にあたって学校に留意してほしい点

- ・実施の際には制服の指導基準とシーン別の着用の状況を事前に把握させてください。
- ・当日はDVD再生可能なプレーヤーとスクリーン、及び折りたたみテーブル(1800mm、幅は600mm希望)の準備をお願いします。
- ・実施可能期間は、2月・3月以外をお願いします。

5 メッセージ

【先生方の声】通学・校内での制服の着用が統一でき、スマートな着こなしができるようになった。また、地域の皆さんや保護者から規律正しくなったという声が出てきた。生徒指導の基準が生徒と先生の間で統一できた。など

【企業担当より】学校の生徒指導の一助として第三者が説明することにより先生方の悩み解消の手助けになれば幸いです。

6 問合せ先
 丸文さとう株式会社
 住所: 〒030-0131 青森市間屋町1丁目9-22
 電話: 017-738-4721 FAX: 017-738-4725

7 社会福祉法人 青森社会福祉振興団（むつ市）

1 我が社の活動方針・理念

社会福祉法人の役割である地域・社会貢献の観点から、「教育」に対するサポート機能として学生の受け入れや情報発信を積極的に実践しています。また、こども・学生のころから「高齢者福祉」を実感し、身近に感じてもらうことで、福祉及び働くことの意義を理解してもらっています。

2 教育支援活動のためのしくみ作り

インターン、職場見学等は法人本部にて情報の一元管理を行い、内容に応じ、各事業所及び人事・研修担当者と連携し、受け入れを決定、実施しています。

認知症サポーター養成講座やユメココ事業等は、主担当・事業所を固定化し、業務の一環として活動しています。

※ユメココ教室とは、地域の様々な職業人が小学校でミニ仕事体験を交えながら講話を行うプログラムです。主催：あおもりで生きる働くを学ぶ下北地区実行委員会。

3 我が社の工夫

① 社内での工夫（計画～実行～評価～改善へ）

各種受け入れ、体験等終了後、アンケートや口頭で感想等を収集し、次回受入れの際の参考としています。また、問題点等ある場合については、法人本部にて情報を一元管理し、法人として分析・改善を行っています。

② 学校との連携での工夫

法人本部及び、受入れ担当になった事業所職員が学校等の担当者と連絡を取り合い、事前打合せや依頼されたアンケート、面談等に対応しています。

③ 実施当日には…

専門用語を使わず、身近なことを題材にしてわかりやすく、紹介・説明することを心がけています。また、少しでも興味を持ってもらえるよう、心に残る伝え方（例えば、寸劇など）を実践しています。

4 その他

① 福祉施設での職場体験者受け入れのため、青森県社会福祉協議会へ事業所登録しています。また、当法人ホームページで、こども参観日等実施の紹介をしています。

[訪問先の学校より]

（高校より感想）認知症に対しての正しい認識を持ち、何か特別なことをすることが必要なわけではないということが分かった。

（小学校より感想）認知症の話聞いて、おじいちゃんが認知症になってもすぐ怒らずやさしく話してあげたいです。

寸劇でわかりやすかった。認知症は物忘れとつながっているとわかったので、おばあさんが困っているとき助けたいです。

② 【法人こども職場参観日】今年度初めて実施の、法人職員の子供を対象とした「こども職場参観日」は、親の働いている姿や施設の様子を見学したことで、未知であった親の職場を身近に感じられたようでした。また、職員からも仕事を理解してもらうことで働く意欲が増した等、大変好評だったため、今後も引き続き実施する予定です。

5 活動の様子、資料など



ユメココ教室での講話の様子

6 最近の活動実績

【ユメココ教室】 介護の仕事を紹介し、やりがいや頑張っていること、苦労したこと、働く上で大切なこと（挨拶等）を伝えた。	【職場体験学習】 職員と一緒に食事介助等高齢者と接することで福祉現場を体験してもらう。	【認知症サポーター養成講座】 認知症を理解してもらうため、寸劇を交えて説明し、認知症サポーターの役割の話しをした。
H25/9/10 むつ市関根小 H25/11/29 むつ市立苫生小学校 H26/7/10 むつ市第三田名部小学校 むつ市奥内小学校 （合同開催、会場：三小） H26/11/26 むつ市立第二田名部小学校 H27/9/8 むつ市立大畑小学校	H26/4/3~4 大湊高等学校 H26/8/28~29 佐井村立佐井中学校 H26/10/15~16 大湊高等学校 H26年度他大学2校、専門学校1校 H27/8/5~6 田名部高等学校 （全日制・定時制） 大湊高等学校 H27/8/18~28 東奥学園高等学校 10/21~30 H27/8/27~28 むつ中学校 H27/9/1~2 大湊中学校 H27/9/3 川内中学校 H27/9/3~4 田名部中学校 H27/9/8~10 むつ工業高等学校 H27/9/16~17 大湊高等学校川内校舎 H27/10/14~16 大湊高等学校 H27/11/5~11 東奥学園高等学校 H27 年度他大学4校	H25/7/19 むつ市立第一田名部小学校 H25/11/20 むつ市立関根小学校 H26/6/6 むつ市立第一田名部小学校 H26/7/11 田名部高等学校大畑校舎 H26/9/16 むつ市立関根小学校 H27/3/24 むつ工業高等学校 H27/6/18 むつ市立苫生小学校

8 株式会社マエダ（むつ市）

1 我が社の活動方針・理念

地域の企業として学校に協力して子どもたちと一緒に育てるという意識をもって、できる限り学校や保護者の要請に応えていっております。

職場見学や職業体験の受け入れにあたっては、児童生徒が自分の力で将来について考えるきっかけや自分の適性を知るための機会を提供しています。また、地域の方にスーパーマーケットの仕事内容や商品の流通・特性を知っていただくことで、食に対する興味をもていただきます。食の安全・安心、地産地消について幅広く知ってもらうために受け入れております。

2 教育支援活動のためのしくみ作り

社会見学（職場見学）については、各店の店長が主体となり、学校と打合せを行っています。店長や各部門のチーフが説明を行っています。

インターンシップ（職業体験）については店長が受入れと初期教育を実施しています。主にグロサリー、青果のチーフ・パートさんが作業指示、指導を行っています。

高校からのインターンシップは本部総務から各店店長に案内しています。中学校については店長と各エリア学校との打合せをしています。社会見学とあわせて全店が対応しております。

3 我が社の工夫

① 社内での工夫（計画～実行～評価～改善へ）

社会見学においてはマニュアルを作成し、各部門の特徴や体験してもらう機器の説明をしています。また、職業訓練（職業体験）はパートさん向けの初級マニュアルから更に簡単な作業を抜粋して実施しています。

② 学校との連携での工夫

職業訓練に関しては受け入れ人数に限りがあるため、本部総務、各学校、店舗で人数の調整を実施しています。

③ 実施当日には…

できたての味を知ってもらうため、許可をえた学校では試食をしております。ベーカリー部門がある店では食パンの試食を実施しています

見学後、質問の時間を設け、生徒さんとの質疑応答をしています。

4 その他

今期以降、弊社ホームページで実施の様子など掲載を予定しています。

第二田名部小学校で実施した「お弁当の日」企画に関しては、保護者向けに写真の展示をマエダ本店特設会場にて実施しました。

5 活動の様子、資料など



青森県立青森商業高等学校インターンシップの様子

6 最近の活動実績

	社会科見学、職場見学等	職場体験、職業訓練等
H26/9月	佐井小学校	
10月	易国間小学校	野辺地中学校
11月	五戸小学校、五戸中学校	野辺地中学校
H27/6月	苫生小学校、奥内小学校、木ノ下小学校、西田沢小学校	野辺地高等学校(2店舗)
7月	大畑小学校(2回)、舞戸小学校、	五戸高等学校、西平内中学校、木造高等学校
8月		奥戸中学校、泊中学校、東北中学校、鶴田中学校、
9月	第三田名部小学校、奥戸小学校、大間小学校、川内中学校、川内小学校(2回)、川内小学校(出前授業)、正津川小学校、泊小学校、六ヶ所南小学校、蛭沢小学校(2回)、木ノ下小学校(2回)、大曲小学校、六戸小学校、開知小学校、五戸小学校、戸山西小学校、新城中央小学校、甲田小学校、蟹田小学校、蓬田小学校、西海小学校、五所川原中央小学校、向陽小学校	風間浦中学校、むつ工業高等学校(3店舗)、尾駮中学校、三沢市立第五中学校、七百中学校、六戸中学校、青森商業高等学校(4店舗)、青森第二養護学校(2店舗)、平舘中学校、甲田中学校(2店舗)、青森中央高等学校、鱈ヶ沢高等学校、木造高等学校、稲垣中学校
10月	小柳小学校	大湊高等学校、鶴田高等学校(2店舗)、五所川原農林高等学校、
11月	浜舘小学校	新城中学校
時期未定		青森東高等学校

※上記実績は全店舗合計、順不同

9 有限会社ジークフリート弘前店（弘前市）

1 我が社の活動方針・理念

子ども達に普段見る事のない菓子製造の様子、作業内容、販売姿勢を見て体験してもらい『ケーキ屋さん』のイメージと実際の『ケーキ屋さん』を比べてもらいたい。

2 教育支援活動のためのしくみ作り

弊社店舗を利用した職業体験学習では、スタッフ全員が子ども達と会話し、実技（接客ロールプレイング等）に参加しています。

3 我が社の工夫

① 社内での工夫（計画～実行～評価～改善へ）

担当教員との打ち合わせ以外に、実習に参加する生徒とも事前に打ち合わせをしております。

② 学校との連携での工夫

職場体験期間中、なるべく生徒が携われるような商品を仕込み、生徒一人にスタッフ一人について作業の様子を見ています。

「お菓子を作る」という事以外に、「働く」ということにも触れて話をしています。

③ 実施当日には…

お菓子の製造だけではなく、製造、包装、販売を一通り手伝ってもらい、商品がお客様の手に渡るまでを体験してもらっています。

事前に準備された質問やアンケートには無いことをこちらから質問し（例：なぜスポンジは膨らむかなど）意外と知られていない事を教えてあげています。

4 その他

我が社は学校教育サポーターに登録し、出前出張授業や職場体験受入れについてインターネット上に公開して、受け入れ要請にできる範囲で応じています。

学校からは毎回礼状が届いており、将来の夢に向かって頑張りたいといった感想が寄せられました。

5 活動の様子、資料など



碓ヶ関中学校職場体験受入の様子（H27年度）

6 最近の活動実績

- | | |
|-------------|------------------------------|
| H27/7/2~3 | 弘前市立石川中学校 菓子製造業務、販売業務の手伝い |
| H27/7/15~17 | 青森県立尾上総合高等学校 菓子製造業務、販売業務の手伝い |
| | 青森県立黒石高等学校 菓子製造業に関するインタビュー |
| H27/9/18~20 | 東北女子短期大学 菓子製造業務、販売業務の手伝い |
| H27/10/7~9 | 弘前市立第五中学校 菓子製造業務、販売業務の手伝い |

あおもりで「生きる・働く」を学ぶキャリア教育実践事業
平成27年度「あおもりキャリア教育応援企業表彰」募集要領

1 応募対象

青森県内の学校等で行われている出前授業、職場見学、職場体験、インターンシップ等のキャリア教育活動を支援している企業・事業所等を対象とします。

※1原則として、これまでに受賞した企業は同一内容の場合、対象外とします。

※2対象となるか判断が困難な場合、「3（2）書類提出先（お問合わせ先）」まで御連絡ください。

2 表彰基準

実施要項第4に定める表彰基準にそって、下記のとおりとします。

キャリア教育の推進に係る、企業・事業所等による継続的かつ効果的な支援活動を評価する観点から、応募企業・事業所等が行う教育CSRに関する取組について、以下の6項目により審査を行います。

※教育CSRとは 「青森県教育委員会 キャリア教育の指針（総論編）」より

CSRとは企業の社会的責任という意味があり、特に企業が社会を構成する一員として主に教育活動に参加することを「教育CSR」と呼んでいます。具体的には、学校の授業への講師派遣、工場や施設見学受入れ、職場体験・就業体験受入、作品募集型コンテストなどイベントの開催、授業用教材の開発、教員向けセミナーの実施など様々な形態があります。

(1) 子どもたちに対する教育支援活動が主体的かつ継続的に行われていること。

活動目的や方針、社内の組織・体制が定められているか、継続的に教育支援活動が行われているか。

(2) 活動内容が、キャリア教育推進に寄与するものであること。

学校との連携及び他の企業・事業所、団体、機関等との連携、協力に関する工夫並びに出前授業や職場体験等の実施に工夫がなされ、キャリア教育推進に寄与しているか。

(3) 効果的な情報発信により、他の企業・事業所等にとって大いに参考になりうるものであること。

子どもたちへの教育支援活動の取組状況について、HPや広報等で公開するなど情報発信の工夫や実績及び自社の支援活動における工夫が何らかの形で公開されているか。

(4) 活動内容が、学校、地域社会及び自企業・事業所等内において広く認知されていること。

新聞、テレビ、雑誌、市町村の広報誌等で活動が紹介されるなど、その実績や支援活動が広く認知されているか。

(5) 教育支援活動を通して学校に金品の寄付、援助及び事業への参加等を強要していないこと。

(6) 活動内容が、政治や宗教を目的とするものではないこと。

3 応募方法

所定の記入様式に必要事項を記入し、締切までに県教育委員会に御提出ください。

(1) 提出書類

①【記入様式】「あおもりキャリア教育応援企業表彰エントリーシート」1部

② その他活動内容や成果等が分かる添付資料

※添付資料は、A4縦判で作成してください。

(2) 書類提出先（お問合わせ先）及び提出方法

以下の宛先に、郵送、持参、あるいは電子メールによりご提出ください。

※郵送、持参の場合、応募書類の電子データについてもCD-R等の電子媒体を添えてください。

※電子メールの場合、お手数ですが必ず電話等で受信の確認をしてください。

青森県 教育庁 生涯学習課 企画振興グループ

〒030-8540 青森県青森市新町二丁目3番1号

電話番号：017-734-9888 Fax 番号：017-734-8272

E-mail：E-SHOGAI@pref.aomori.lg.jp

ウェブサイト：<http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/career-edu.html>

（「生きる」「働く」「学ぶ」をつなぐ 青森県のキャリア教育 総合ポータルサイト）

※本募集要項及び応募申込書様式をダウンロードできます。

※「生きる 働く 学ぶ」で検索して下さい。

持参による受付時間 平日8:30～17:15

(3) 応募期間

平成27年8月3日（月）～平成27年9月16日（水）

※郵送の場合は締切当日消印有効

4 表彰の決定

平成27年度「あおもりキャリア教育応援企業表彰」への応募があった企業及び事業所並びに個人の活動実績について、青森県教育委員会が設置する平成27年度第2回青森県キャリア教育推進協議会において、審査基準に基づき審査し、県教育委員会が決定します。

5 表彰の方法

11月18日に青森市内で開催される「平成27年度あおもりで「生きる・働く」を学ぶキャリア教育推進大会」において「あおもりキャリア教育応援企業表彰」の表彰式を行います。

受賞者には改めて御案内しますが、式への御出席をお願いします。

(1) 表彰式

①日時 平成27年11月18日（水） 10:00～10:30

②会場 青森県総合社会教育センター（青森市荒川字藤戸119-7）

③内容 ・表彰状の授与
・一部表彰企業・事業所等の事例紹介

(2) 留意事項

表彰式出席に係る費用（旅費等）は、受賞者にて御負担をお願いします。

6 注意事項

- ・提出いただいた応募書類等は返却いたしませんので、あらかじめ御了承ください。
- ・審査に関するお問い合わせには応じられません。
- ・応募いただいた企業・事業所名及び個人名や活動内容を、県教育委員会ホームページ等で公表することがあります。また、報道機関等からの取材があった場合に御協力をお願いすることがあります。

7 個人情報の取り扱いについて

応募者の個人情報は、青森県個人情報保護条例に基づき、審査及び運営に必要な範囲内で利用し、第三者へ提供することは一切ありません。応募者の同意なく、利用目的を超えて利用することはありません。